

週間展望 (7/11~7/17)

~ WEEKLY FORECAST ~

調査課

菊川 弘之



PHOTO by KIKUKAWA

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

目次 (2022/7/11号)

| | |
|---|----------|
| ■ 目次 | ・・・ P 2 |
| ■ 週間予定：米CPI・イエレン来日、バイデン中東歴訪が注目 | ・・・ P 3 |
| ■ 前週Review：参院選は与党勝利も... | ・・・ P 4 |
| ■ ドル円：イエレン来日・発言に注意 | ・・・ P 5 |
| ■ 金：JPX金は、7400円の攻防戦 | ・・・ P 6 |
| ■ 白金：心理的節目800ドル割れは、底値圏 | ・・・ P 7 |
| ■ ゴム：営業倉庫生ゴム在庫減少 | ・・・ P 8 |
| ■ 穀物：小麦が下げ止まり。一旦は底打ちか？ | ・・・ P 9 |
| ■ 原油：110ドル水準を回復できるか否かが焦点 | ・・・ P 10 |
| □ 騰落率（年間・月間・週間） | ・・・ P 11 |
| □ 米雇用統計 | ・・・ P 11 |
| □ ETF（金・白金）・EIA原油在庫 | ・・・ P 12 |
| □ USDA生育進捗率・USDA作柄 | ・・・ P 13 |
| □ 週間輸出成約高・期末在庫率 | ・・・ P 13 |
| □ CFTC建玉明細・・・ P 14～15 （ドル円・ユーロドル・NY金・NY白金） （NY原油・NYガソリン・シカゴ大豆・シカゴコーン） | |

CX週間展望（7月11日～）

【週間スケジュール(7月11日～7月17日)】

| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|----------------|---|---|--|--|---|---|
| | | | | | 1 日 日銀短観 中 財新製造業PMI 米 製造業PMI 米 ISM製造業景気指数 | 2 |
| 3 | 4 米 休場（独立記念日） ユ ユーロ圏生産者物価指数 (PPI) | 5 中 財新サービスPMI 米 耐久財受注 | 6 米 サービス業PMI 米 総合PMI 米 ISM非製造業景気指数 | 7 米 FOMC議事要旨 米 ADP雇用者数 米 貿易収支 | 8 日 国際収支-経常収支 日 国際収支-貿易収支 米 雇用統計 | 9 中 生産者物価指数 (PPI) 中 消費者物価指数 (CPI) |
| 10 日 参院選挙 | 11 日 機械受注 | 12 日 国内企業物価 独 ZEW景況感指数 イエレン米財務長官来日（～13日） | 13 中 貿易収支 英 月次GDP 独 消費者物価指数 (CPI・HICP) 英 鉱工業生産 米 消費者物価指数 (CPI) バイデン大統領中東歴訪（～16日） 米 ペーゾブック | 14 日 設備稼働率 日 鉱工業生産 米 生産者物価指数 (PPI) 満月 | 15 中 鉱工業生産 中 実質GDP 中 小売売上高 米 小売売上高 米 NY連銀製造業景気指数 米 鉱工業生産 米 ミシガン大学消費者信頼感指数速報値 バイデン大統領サウジ訪問（～16日） | 16 |
| 17 | 18 米 対米証券投資 米 住宅着工件数 米 建設許可件数 | 19 英 消費者物価指数 (CPI) 米 中古住宅販売件数 日 日銀金融政策決定会合（～21日） | 20 日 日銀政策金利 ユ ECB政策金利 米 フィラデルフィア連銀景況指数 | 21 日 全国消費者物価指数 米 製造業PMI 米 サービス業PMI 米 総合PMI | 22 | 23 |
| 24 | 25 独 Ifo景況感指数 | 26 米 S&Pケースシラー住宅価格 米 CB消費者信頼感指数 米 新築住宅販売件数 米 FOMC（～27日） | 27 米 卸売在庫 米 耐久財受注 米 中古住宅販売成約数 米 FRB政策金利 | 28 ユ ユーロ圏景況感指数 米 実質GDP | 29 ユ ユーロ圏GDP 米 雇用コスト指数 米 PCEデフレーター 米 ミシガン大学消費者信頼感指数確報値 新月 | 30 |
| 31 中 製造業PMI | | | | | | |

今週の注目は、米CPI。イエレン訪日、バイデン中東歴訪。

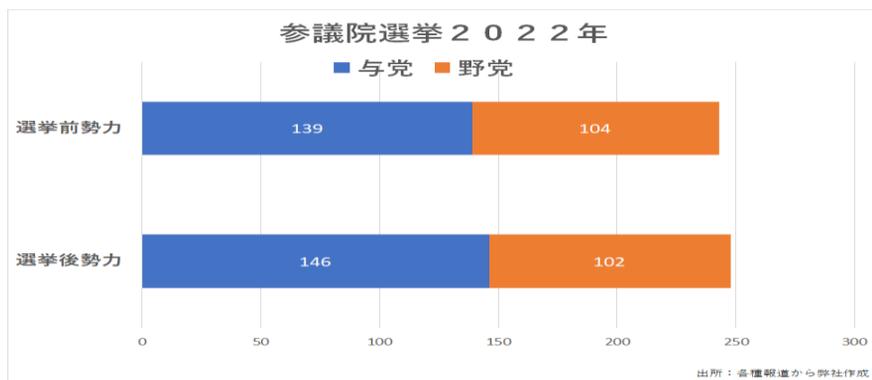
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

前週レビュー・トピックス

～参院選は与党勝利も。～

調査課

菊川 弘之



【与党勝利も】

第26回参院選で自民、公明の与党は参院全体(248議席)の過半数の125議席に加え、改選議席(124)の過半数の63議席を大きく上回った。自民は単独でも改選過半数を確保した。「改憲勢力」は、改憲の発議に必要な3分の2(166議席)の維持に必要な82議席以上を獲得した。

過去、与党(自民党)が衆院選挙で勝利した場合、株価(日経平均)は好感する傾向がある。今回も岸田政権が一定の信任を得て、**衆院を解散しない限り大型国政選挙のない「黄金の3年」の入り口に立ったことを期待する向きも多い。**

黄金の3年期待は限定的か？

ただし、安倍元首相殺害で、**ロシア・中国との距離感がさらに遠くなる可能性は大きい。**プーチン大統領は6月30日、「サハリン2」を完全国有化して日欧を締め出す方向の大統領令を出した。日欧は、1ヶ月以内にロシア政府に申請して許可を得ないとガスの利権を失うことになる。

サハリン2からガスが止まると、岸田首相のお膝元で、来年5月にG7開催が決まっている広島(年間輸入量のうち約5割に当たる20万トン)をサハリン2から仕入れている)など、全国で都市ガスの供給が行き詰まり、多くの国民がガスなしの生活を強いられることになりかねない。「サハリン2」からのLNG輸入が止まったら、日本が替わりのガスの輸入先を短期的に見つけることは事実上、不可能な状況だ。

安倍元首相がプーチン大統領との個人的関係を利用して対露和解を進める展開はなくなった。露政府は、岸田首相や林外相らを入国禁止の制裁対象にしたが、安倍元首相は入国禁止の対象に入っていなかった。安倍氏は27回プーチン大統領と会談を行い、2014年のソチ・オリンピック開会式で、G7リーダーが欠席する中、「北方領土の日」の式典に出席し、その足で、ソチ開会式に出席した。クリミア併合以後、オバマ大統領が制止しても、安倍氏はロシアを訪問した。そのためロシアでは、米国の圧力に屈しない「勇気ある政治家」と評価が高い。

一方、岸田首相に対しては、米国からの圧力に屈し、対露制裁をするだけでなくNATO首脳会談にまで出席し、ロシアに対する徹底した批判を支持率の為にしている人物との評価だ。交渉の道は絶たれた状況だ。

コロナ感染の再拡大や、原発再開・改憲など問題は山積みの中で、年末にかけ食料やエネルギーの価格は上昇する見込みで、岸田首相が対応を誤れば国民や党内の不満が高まり、政権を揺るがしかねない。

選挙勝利効果は、短期的なものとなるかもしれない。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

ドル円 (YEN)

~イエレン来日・発言に注意~

調査課

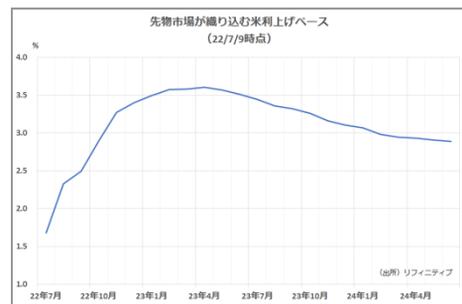
菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

強気のISM非製造業景況感指数や、雇用統計(P11下段図参照)を受け、米経済への過度な懸念が和らいだ事で、米金利は、5月末の安値水準(上チャート:緑線)を維持した。雇用統計では、非農業部門の雇用者数が前月比37万2000人増と市場予想(25万人増)を上回った。平均時給は前年同月比5.1%上昇と伸び率は市場予想(5.0%)を小幅に上回った。

7月FOMCでも通常の3倍の0.75%の利上げに動くとの観測から金利上昇・ドル買いとなったが、**景気後退観測とソフトランディング期待の強弱感が交錯**し、上値は限定的となっている。(7/4付:市場分析レポート参照)。



先物市場では年内の利上げを織り込むと同時に、**来年の利下げを織り込み始め**ている。(中段右下図参照)。これまでの「インフレ」から、ここへきて「景気後退」がマーケットの材料として浮上してきた感もある。

イエレン来日
バイデンサウジ訪問

米金利・ドル共に上値が抑えられ、狭いレンジ相場(三角保合い形成)している中、**12-13日はイエレン財務長官が来日**する。発言次第では上下いずれにも、東京時間帯に動意付く可能性もある。週末には、**バイデン大統領がサウジを訪問**する。原油増産依頼の結果如何では、インフレ動向に大きく影響を与える原油も上下に振れ、金利動向に影響を与えるだろう。ただ、過去のドル円を振り返ると**7月は変動の小さくなる月**でもある(7/1付マンスリーレポート参照)。大きなサプライズがなければ、8月のジャクソンホールに向けて様子見ムードが高まる可能性も。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

金 (GOLD)

~ J P X 金は、7400円の攻防戦 ~

調査課

菊川 弘之

【今週見通し・戦略】



NY金(8月限)は、ロシアの報復制裁もあり、ユーロの下放れに追隨して、保合以下放れから下げ加速となった。(上段チャート参照)。

ロシアがドイツへの天然ガスパイプライン、ノルドストリーム1(NS1)の供給量を60%減らしたことで、ドイツの大手電カガス企業「ユニパー」が経営難に陥っている。独ifo経済研究所は、「ロシアからのガスが完全に止まった場合の経済損害は、今年と来年で2200億ユーロ(30兆8000億円)にのぼる」という悲観的な予測を発表している。

週末は、ユーロドルが下ヒゲ陽線引けしており、ユーロが底打ちできるか否かが、NY金にとっての焦点となる。

ラガルドECB総裁は今月の理事会で25ベースポイント(BP)の利上げ方針を示している。ただユーロ圏国債の分断化防止措置も当面の焦点であり、大幅利上げは難しくなっている。一方、英国ではジョンソン首相が7日、辞任を表明。不祥事が続く中、与党保守党内でも求心力を失い、閣僚が相次いで離反した。ただ後継者が決定するまでは職にとどまるとしている。

J P X 金は、7400円の攻防戦

円建て金も、終値ベースで、6/17安値(右側下チャート緑点線)を割り込み、下げ加速。心理的節目7,500円~5/17安値(7,405円:緑線)の攻防戦へ。終値ベースで、同水準を維持できるか否かが焦点。一目均衡表からは、N=7,351円が目標値。

7月前半、テクニカル的に売られた安値を、(短期売買以外では)新規で売り込まないようにしたい。7月FOMCでは大幅利上げが予想されているものの、過去の利上げ局面下での金相場と同様、「知ったら終い」となる可能性も。既に米金利の頭打ち感も出始めている。「金・資源本位制」に向けて、ロシア・中国は着々と足場を固めており、引き続き、資金配分を考慮しながら、突っ込んだ安値を丹念に買い拾う戦略を考えたい。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

白金 (Platinum)

～心理的節目800ドル割れは、底値圏～

調査課

菊川 弘之

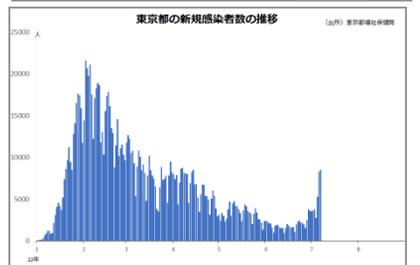


【今週見通し・戦略】

先週、「白金-金」の鞘は、「金売り・白金買い」に転じた。ボリンジャーバンドでは保合いに移行しているが、%Bのクロスを伴って上放れれば、順張り型、クロスせず保合い継続なら、逆張り型となる。(右図チャート)。金がユーロ安に追随した事に対して、白金はパラジウム高に追随した。ロシアが欧州への天然ガスパイプラインの供給量を60%減らしたことで、ロシア生産シェアの高い銘柄群の制裁が連想された。



NY白金は、支持線だった900ドルを維持できなかったものの、週足では長い下ヒゲを形成している。早々に回復できれば、800ドル～1000ドルのレンジへ戻る。



一方、900ドルを維持できなければ、800ドルを試す流れとなるが、過去、NY白金の800ドル割れ水準は、底値圏として買い拾われており、同水準への下落があった場合は、結果として中朝的な買い場を提供することになると見る。

感染者急拡大

東京都は、新たに9,716人の感染を発表。先週土曜日に確認された3,616人から6,100人増えていて、2倍以上に増加。9000人を超えるのは、3月30日以来、3ヶ月あまりぶりとなる。22日連続で前週の同じ曜日の感染者数を上回るとともに、5日連続で前週比の倍以上となった。(右下図)。

今後、再び行動制限が加わるようなら、株売りが白金売りの材料となる可能性には注意したい。**感染者拡大動向に注意。**

今夏の鉱山会社の賃金交渉の行方も注意。鉱山ストライキとなれば供給不安が支援要因になる可能性も出てくる。大手労組である**南ア全国鉱山労働者組合(NUM)**と**南ア鉱山建設労働組合(AMCU)**の動向に注意。

7月のNY白金の月間騰落率は、買い優勢な時間帯(32戦19勝13敗)。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

ゴム (RSS 3号)

～営業倉庫生ゴム在庫減少～

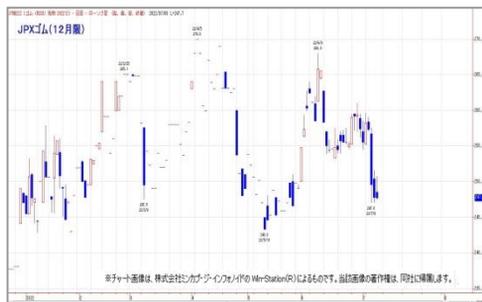
調査課

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

JPXゴム(右図チャート)は、米国の景気後退懸念が高まる中、商品売りが急速に進み大幅安の展開。ゴム独自材料に欠けるものの、指標の上海ゴム(上図チャート)が、下げ足を強めた事で、JPXゴムも追随した。



上海ゴムは、週末にかけて下値を切り上げており、このまま反発傾向を維持できるかが焦点。

生ゴム在庫は減少

JPXゴムは、下げ過程で当先の逆ザヤ拡大。期近の割安感は拡大している。**営業倉庫生ゴム在庫(右下図)は減少が継続**しており、上海ゴムの崩れがなければ、JPXは「逆ザヤの売りなし」で、鞘出世が意識されるか？全国生ゴム営業倉庫在庫は、6月30日時点9,338トン(前旬比570トン減)。6月下旬の入出庫は入庫515トン、出庫1,085トン。



7日、中国商務省は、中古車販売規制の一部撤廃計画や電気自動車(EV)の免税措置の延長を検討することなどの**自動車需要拡大策**を発表。また、中国財政省は、景気対策として地方政府に1兆5000億元規模の特別債発行を許可する方向に入った。ただ、地方政府に特別債の発行を許可するということは、中央政府は積極的に財政出動をしない可能性があるともみられるうえ、地方政府の特別債発行のスキームは、通常なら国務院の承認などが必要になるなど、時間が掛かると見られるが、5年に一度の共産党大会を控え、前例にないスキームで特別債が発行される可能性もあるだろう。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

穀物(大豆・コーン)

~小麦が下げ止まり。一旦は底打ちか?~

調査課

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

シカゴ大豆は調整継続で、15ドル水準まで続落したが、7月3日時点の作柄は、「良」以上の比率が63%まで低下。作柄悪化によりイールド(単収)低下リスクが高まっている。週足では長い下ヒゲを形成。

一方、シカゴコーンは、作付け面積の発表があった6月30日に下放れたが、7ドルが下値支持として機能中。米中西部産地の高温乾燥予報が警戒されている。

3日時点の作柄報告によると、「良」以上が64%となり、前週から3ポイント悪化。昨年の同時期の64%と並んだ。

12日にUSDAから発表される農務省需給報告は、7月1日時点の予測のため、3日時点の作柄悪化は反映されず、弱気の内容となるかもしれないが、6月は作柄の悪化が続き、今後、22/23年の生産見通しが下方修正される可能性が浮上するかもしれない。

小麦下げ一服

上昇も下落も**穀物市場の価格リード役だった小麦が下げ一服となるか否かが焦点**。ウクライナから農産物が輸出される可能性や、米国産の冬小麦の収穫が順調であることなどが嫌気されていたが、2020年6月安値~2022年3月高値までの上昇に対する61.8%押しで下げ止まり、週足では長い下ヒゲを形成している。



米中西部産地の高温乾燥予報が警戒されているが、米中西部産地では30°Cを超える猛暑は続かず、高温乾燥は一部地域にとどまるかもしれない。

11日の引け後に発表される10日時点の作柄報告、土壌水分を確認したい。

米農務省需給報告も注目だが、今後の天候次第で生産量が大きく変化するのは大豆。

コーンに関しては、週末に行われるバイデン大統領とサウジ皇太子の会談の内容如何で原油が動意付けば、影響を受けるだろう。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

原油(OIL)

~110ドル水準を回復できるか否かが焦点~

調査課

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

NY原油は、景気後退観測からの株安を嫌気したが、先週末にかけてV字の切り返りとなっている。価格帯別出来高の厚い**110ドル水準を回復できるか否かが焦点**。(上段チャート)。7月のNY原油の月間騰落率は、買い優勢な時間帯(32戦20勝10敗)。

バイデン大統領
中東歴訪

今週は、**バイデン米大統領が中東諸国を訪問**。週末にかけてサウジアラビアのサルマン国王・ムハンマド・ビン・サルマン皇太子らと会談予定。布石として、米大統領はサウジに増産要請はしない方針と報じられており、**増産なしよりも、何らかの増産決定の方が、サプライズ**となる。

ロシア国営ガス大手のガスプロムは7月4日、液化天然ガス(LNG)輸出でロシア通貨ルーブルによる支払いを求める提案を下院に提出した。ロシアは3月、パイプラインを通じてロシア産ガスを輸入する「非友好国」にルーブル払いを義務付けた。既に、ロシアがドイツへの天然ガスパイプライン、ノルドストリーム1(NS1)の供給量を60%減らしたことで、ドイツの大手電力・ガス企業「ユニパー」が経営難に陥っている。

ユニパーは、6月29日に投資家向けに公表した臨時情報で「ロシアの国営ガス企業ガスプロムが今年6月16日以来、NS1を通じた1日のガス供給量を通常よりも60%減らしたため、我が社の経済的負担が大きくなっている。このため我が社はドイツ政府との間で、経営を安定化するための措置について協議を始めた。政府から緊急融資や保証、さらに政府の我が社への資本参加(部分的国有化)が行われる可能性もある」と発表した。

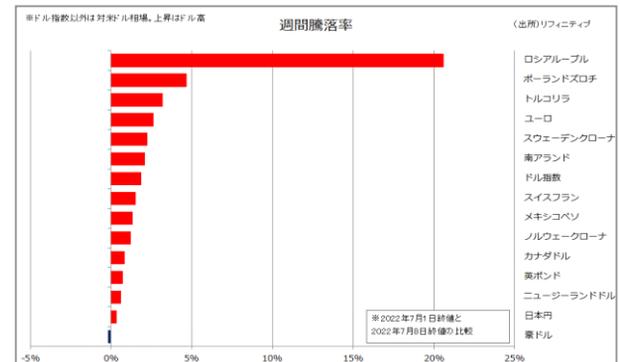
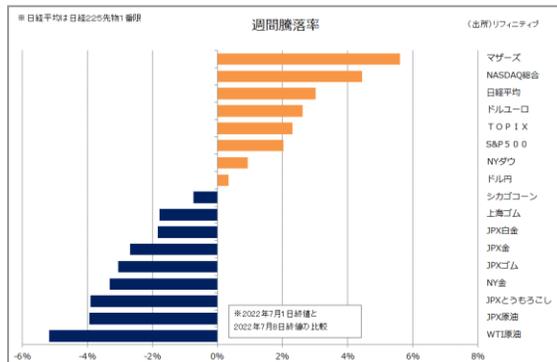
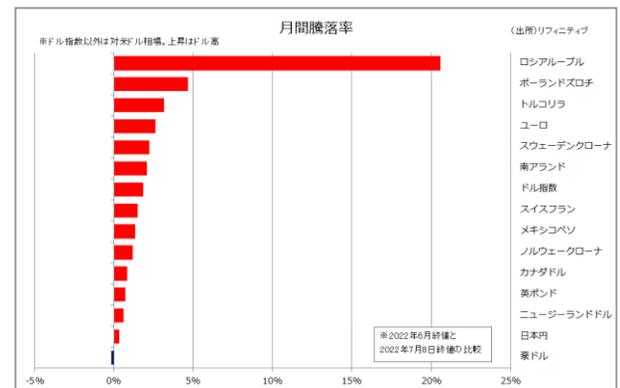
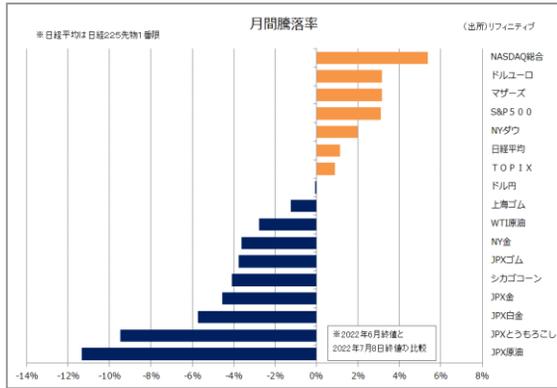
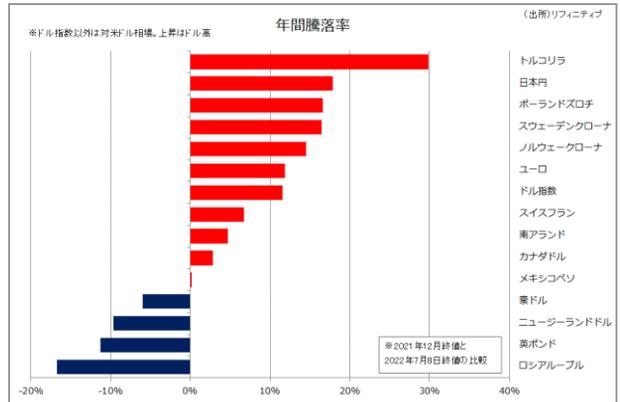
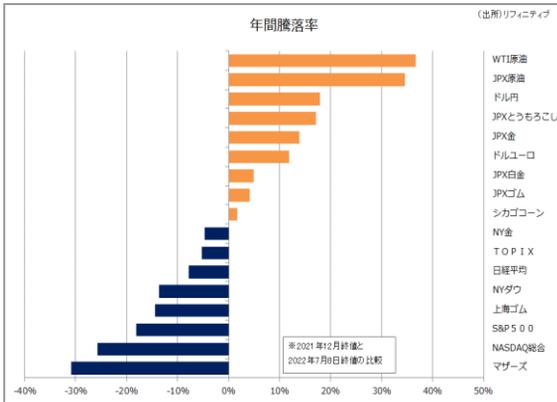
独ifo経済研究所は、「ロシアからのガスが完全に止まった場合の経済損害は、今年と来年で2200億ユーロ(30兆8000億円)にのぼる」という悲観的な予測を発表している。

JPモルガンは1日付のレポートでG7が検討しているロシア産石油の価格上限設定について、ロシアが報復措置として石油生産を日量500万バレル削減する「最も極端なシナリオ」では北海プレントが1バレル=380ドルに急騰する可能性があるとの見方を示している。

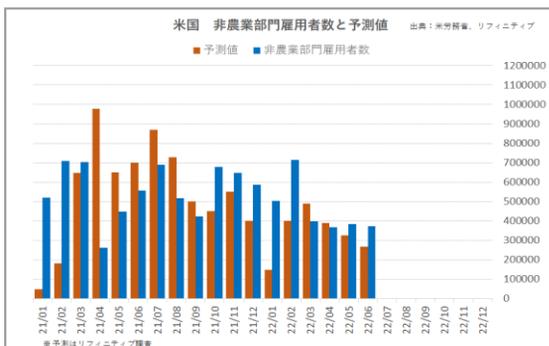
6月のG7では、ロシア産原油価格に上限を設ける方針が決定されたが、**実効性には疑問の声**が多く、ロシアの主要原油指標であるウラル原油は、一時の大幅なディスカウントはすでに大きく是正されている。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【騰落率(年間・月間・週間)】



【雇用統計(非農業部門雇用者数)】



【米雇用統計(一覧)】

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月結果 |
|---------------|-------|-------|-------|---------|-----------|-------|
| 非農業部門新規雇用増加数 | 504 | 714 | 398 | 436→368 | 390→384 | 372 |
| (内はADP発表(千人)) | (512) | (601) | (479) | (247) | (128) | () |
| 失業率 | 4.0% | 3.8% | 3.6% | 3.6% | 3.6% | 3.6% |
| 労働参加率 | 62.2% | 62.3% | 62.4% | 62.2% | 62.3% | 62.2% |
| 広義(U6)失業率 | 7.1% | 7.2% | 6.9% | 7.0% | 7.1% | 6.7% |
| 平均週間労働時間 | 34.6 | 34.7 | 34.6 | 34.6 | 34.6→34.5 | 34.5 |
| 平均賃金(前月比) | +0.6% | +0.1% | +0.5% | +0.3% | 0.3%→0.4% | +0.3% |

※2022年6月1日終値 季節予定値:リフィニティブ調べ
出所:米労働部、オートマチックデータプロセッシング(ADP)

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に十全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【金・白金ETF】

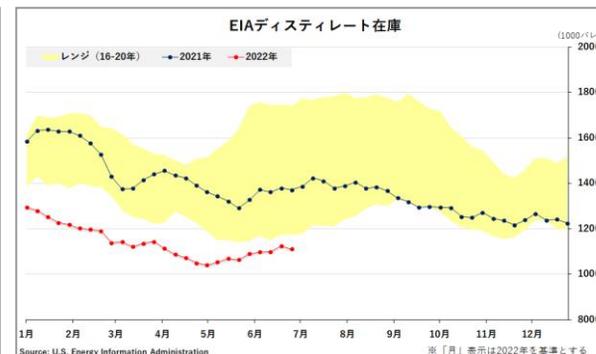
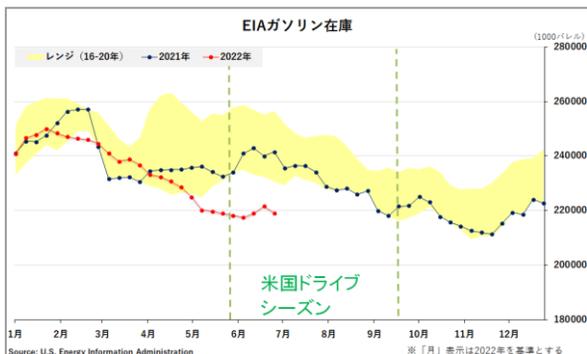
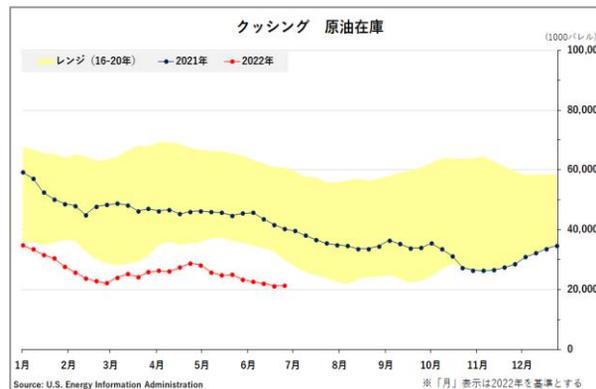
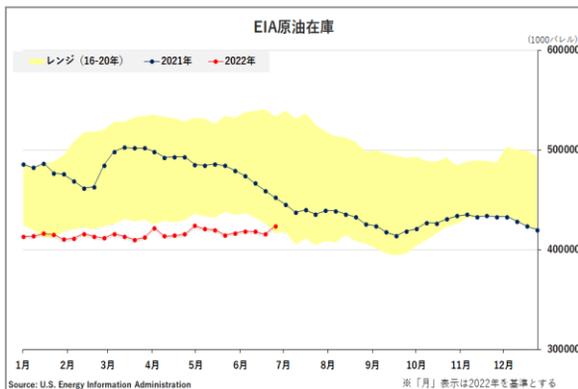


| 日付 | 金保有高(トン) | 前営業日比 |
|-----------|----------|-------|
| 2022/7/8 | 1023.27 | -1.16 |
| 2022/7/7 | 1024.43 | ±0 |
| 2022/7/6 | 1024.43 | -7.61 |
| 2022/7/5 | 1032.04 | -9.86 |
| 2022/7/1 | 1041.90 | -8.41 |
| 2022/6/30 | 1050.31 | -2.32 |
| 2022/6/29 | 1052.63 | -3.77 |



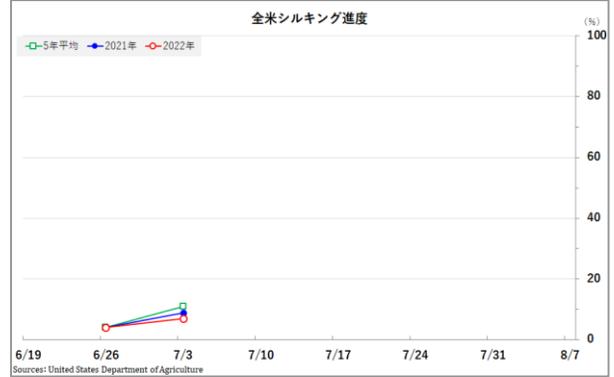
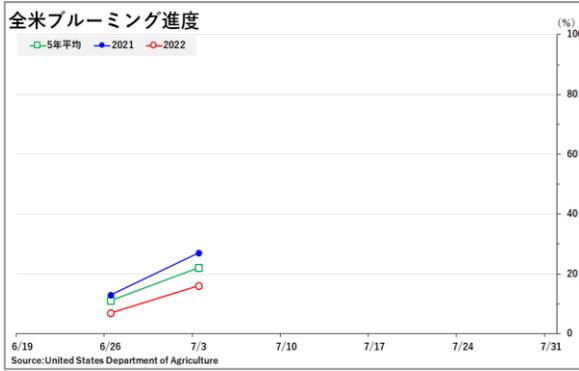
| 日付 | 白金保有高(キログラム) | 前営業日比 |
|-----------|--------------|---------|
| 2022/7/8 | 75,107.39 | ±0 |
| 2022/7/7 | 75,107.39 | -0.12 |
| 2022/7/6 | 75,107.52 | -0.12 |
| 2022/7/5 | 75,107.64 | +194.46 |
| 2022/7/1 | 74,913.18 | -61.24 |
| 2022/6/30 | 74,974.43 | -0.16 |
| 2022/6/29 | 74,974.58 | -0.03 |

【EIA在庫】

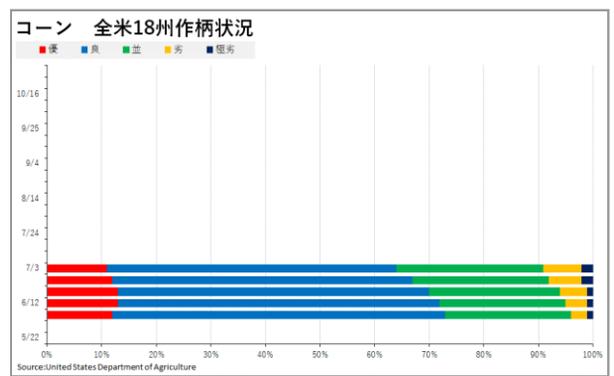
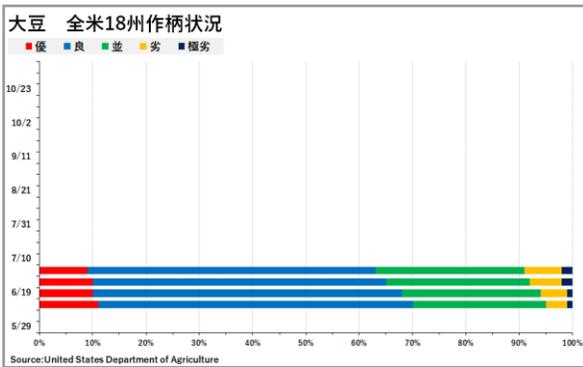


当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に十全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

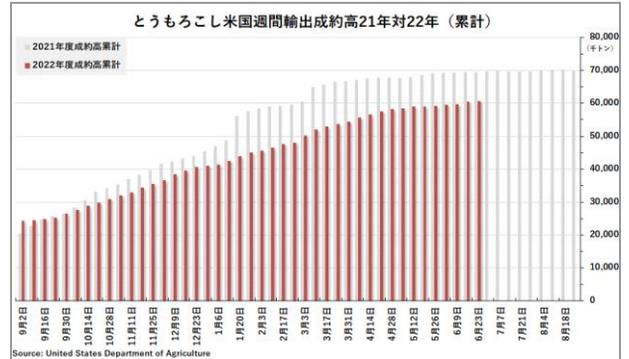
【USDA生育進捗(大豆・コーン)】



【USDA作柄(大豆・コーン)】



【週間輸出成約高(大豆・コーン)】



【作付け面積(米国産大豆)】



【作付け面積(米国産コーン)】

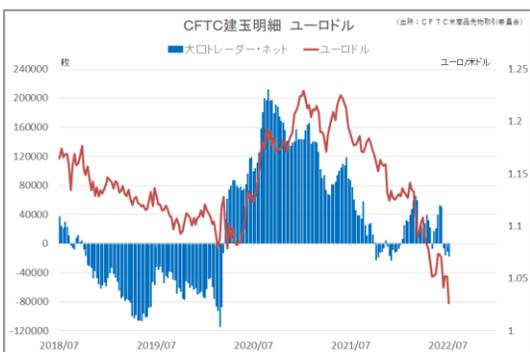


当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に十全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

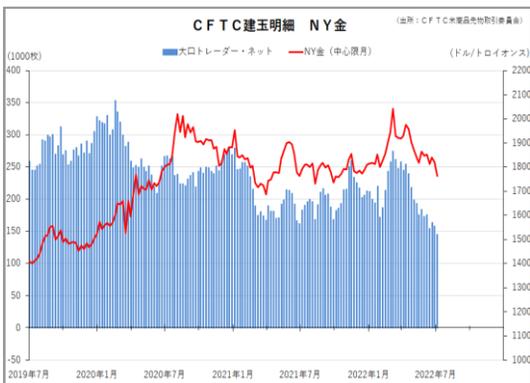
【CFTC建玉明細】



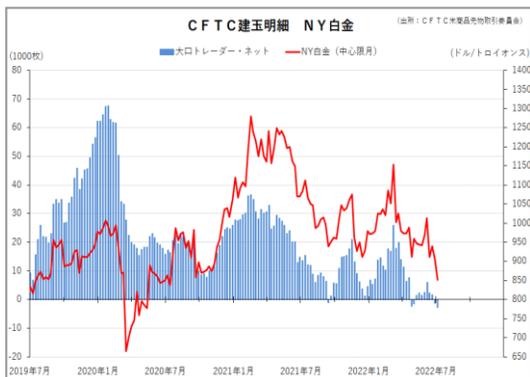
| ドル円 | | | | |
|-----------|--------|---------|----------------------|--------|
| 日付 | 大口投機玉 | | | 終値 |
| | ロング | ショート | 差引枚数 (ロング - ショート) | |
| 2022/6/7 | 18,466 | 110,112 | -91,646 | 132.58 |
| 2022/6/14 | 32,441 | 102,196 | -69,755 | 135.47 |
| 2022/6/21 | 35,864 | 94,318 | -58,454 | 136.61 |
| 2022/6/28 | 36,462 | 89,032 | -52,570 | 136.12 |
| 2022/7/5 | 38,660 | 93,105 | -54,445 | 135.87 |
| 前週比 | 2,198 | 4,073 | -1,875 | -0.25 |



| ユーロドル | | | | |
|-----------|---------|---------|----------------------|---------|
| 日付 | 大口投機玉 | | | 終値 |
| | ロング | ショート | 差引枚数 (ロング - ショート) | |
| 2022/6/7 | 230,248 | 179,705 | 50,543 | 1.0699 |
| 2022/6/14 | 206,986 | 213,004 | -6,018 | 1.0414 |
| 2022/6/21 | 195,554 | 211,159 | -15,605 | 1.0525 |
| 2022/6/28 | 189,414 | 200,010 | -10,596 | 1.0518 |
| 2022/7/5 | 197,138 | 213,990 | -16,852 | 1.0266 |
| 前週比 | 7,724 | 13,980 | -6,256 | -0.0252 |



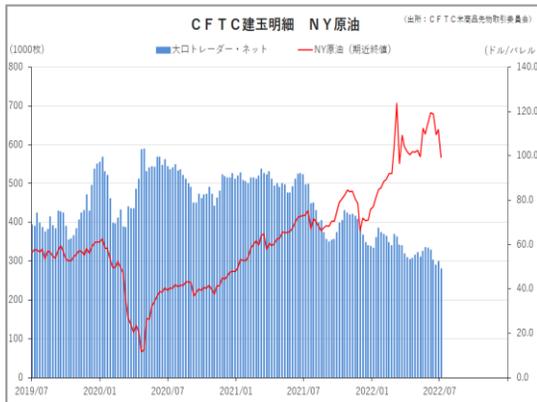
| NY金 | | | | |
|-----------|---------|---------|----------------------|------------|
| 日付 | 大口投機玉 | | | 中心限月 終値 |
| | ロング | ショート | 差引枚数 (ロング - ショート) | |
| 2022/6/7 | 270,356 | 95,088 | 175,268 | 1852.1 |
| 2022/6/14 | 266,596 | 111,998 | 154,598 | 1813.5 |
| 2022/6/21 | 268,119 | 104,832 | 163,287 | 1838.8 |
| 2022/6/28 | 268,712 | 111,019 | 157,693 | 1821.2 |
| 2022/7/5 | 267,806 | 122,146 | 145,660 | 1763.9 |
| 前週比 | -906 | 11,127 | -12,033 | -57.3 |



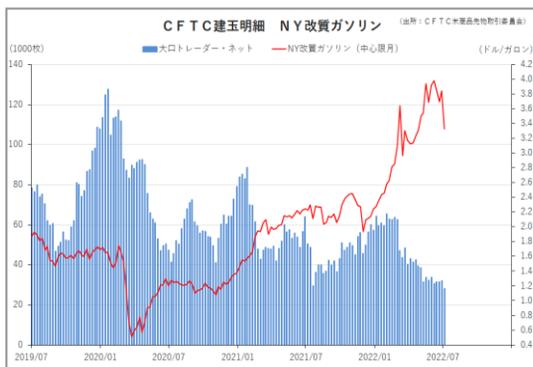
| NY白金 | | | | |
|-----------|--------|--------|----------------------|------------|
| 日付 | 大口投機玉 | | | 中心限月 終値 |
| | ロング | ショート | 差引枚数 (ロング - ショート) | |
| 2022/6/7 | 27,004 | 21,071 | 5,933 | 1012.9 |
| 2022/6/14 | 25,085 | 22,871 | 2,214 | 910.7 |
| 2022/6/21 | 25,676 | 24,185 | 1,491 | 939.5 |
| 2022/6/28 | 28,451 | 29,757 | -1,306 | 905.6 |
| 2022/7/5 | 31,920 | 34,654 | -2,734 | 850.7 |
| 前週比 | 3,469 | 4,897 | -1,428 | -54.9 |

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

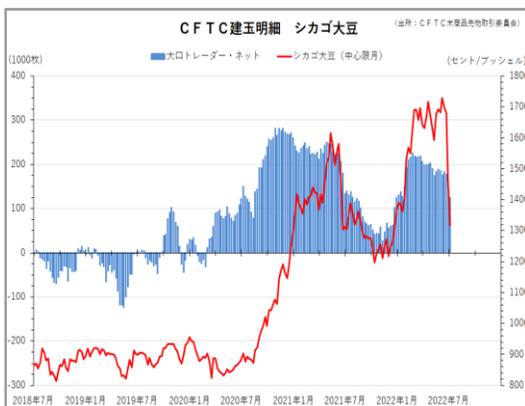
【CFTC建玉明細】



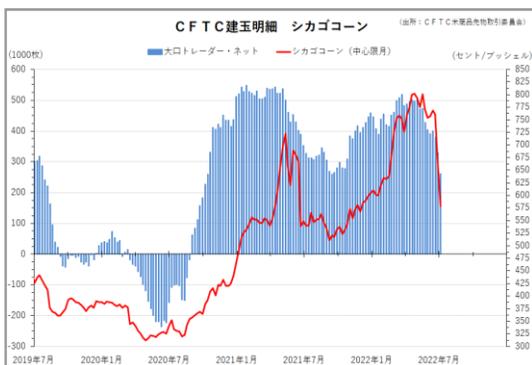
| NY原油 | | | | |
|-----------|---------|---------|----------------------|--------|
| 日付 | 大口投機玉 | | | 期近終値 |
| | ロング | ショート | 差引枚数 (ロング - ショート) | |
| 2022/6/7 | 423,882 | 95,626 | 328,256 | 119.41 |
| 2022/6/14 | 409,427 | 106,481 | 302,946 | 118.93 |
| 2022/6/21 | 388,496 | 98,994 | 289,502 | 109.52 |
| 2022/6/28 | 396,046 | 96,354 | 299,692 | 111.76 |
| 2022/7/5 | 394,943 | 114,420 | 280,523 | 99.5 |
| 前週比 | -1,103 | 18,066 | -19,169 | -12.26 |



| NY改質ガソリン | | | | |
|-----------|--------|--------|----------------------|---------|
| 日付 | 大口投機玉 | | | 期近終値 |
| | ロング | ショート | 差引枚数 (ロング - ショート) | |
| 2022/6/7 | 75,841 | 45,353 | 30,488 | 3.9788 |
| 2022/6/14 | 76,744 | 45,288 | 31,456 | 3.8419 |
| 2022/6/21 | 75,835 | 44,428 | 31,407 | 3.6953 |
| 2022/6/28 | 76,657 | 44,558 | 32,099 | 3.8442 |
| 2022/7/5 | 72,955 | 44,934 | 28,021 | 3.329 |
| 前週比 | -3,702 | 376 | -4,078 | -0.5152 |



| シカゴ大豆 | | | | |
|-----------|---------|--------|----------------------|------------|
| 日付 | 大口投機玉 | | | 中心限月 終値 |
| | ロング | ショート | 差引枚数 (ロング - ショート) | |
| 2022/6/7 | 229,895 | 53,251 | 176,644 | 1728.25 |
| 2022/6/14 | 229,930 | 47,263 | 182,667 | 1698.50 |
| 2022/6/21 | 226,191 | 47,812 | 178,379 | 1681.00 |
| 2022/6/28 | 191,380 | 54,187 | 137,193 | 1462.50 |
| 2022/7/5 | 190,571 | 65,080 | 125,491 | 1316.00 |
| 前週比 | -809 | 10,893 | -11,702 | -146.50 |



| シカゴコーン | | | | |
|-----------|---------|---------|----------------------|------------|
| 日付 | 大口投機玉 | | | 中心限月 終値 |
| | ロング | ショート | 差引枚数 (ロング - ショート) | |
| 2022/6/7 | 520,783 | 129,519 | 391,264 | 757.00 |
| 2022/6/14 | 519,685 | 119,910 | 399,775 | 768.25 |
| 2022/6/21 | 504,174 | 124,005 | 380,169 | 760.75 |
| 2022/6/28 | 433,710 | 105,608 | 328,102 | 659.25 |
| 2022/7/5 | 395,713 | 135,008 | 260,705 | 578.50 |
| 前週比 | -37,997 | 29,400 | -67,397 | -80.75 |

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【留意事項】

当社が取り扱っている金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動により損失を生じる恐れがあります。商品や取引によっては、投資元本を超える損失が発生することがあります。各商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、各商品等へのご投資にかかる手数料及びリスクについては、当該金融商品等の取引概要やリスク説明等、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等を十分にご確認ください。

<商号等> 日産証券株式会社 (〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-11)
関東財務局長(金商)第131号 金融商品取引業者 商品先物取引業者
<加入協会> 日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般財団法人金融先物取引業協会

当資料は情報提供を目的としており、当社取扱商品に係る売買を勧誘するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。